

感想	立場
シンポジストの話が、興味深かった。勉強になった	給食会社、 管理栄養士・栄養士
とても有意義なシンポジウムで参加できて良かった。	行政、管理栄養士・ 栄養士
他企業の食事提供の事例がわかりよかった。	企業の人事関係者
会社、委託の認識が大切。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
経験多い管理栄養士の発表は身近に感じられた。特定保健指導のハイリスク者に対して、従業員食堂がどうかかわっていくか、今後の大きな課題であると痛感した。	行政、管理栄養士・ 栄養士
給食施設の中で「事業所」はほとんどが委託給食で、委託会社へまかせきりであるところが多い。今回の特定保健指導への取り組むことになり、健康管理部門との連携が重厚になってくる。食堂（給食）の役割をあらためて考えてきており、良いチャンスである（追い風である）地域でも、この点に視点をあてた研修等を開催していきたい。今回の内容を踏まえて、今後の企画をしていきたい。	行政、管理栄養士・ 栄養士

意見	立場
内容はともかく、シンポジウム中にスタッフがうろろするのはやめてもらいたい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
管理栄養士が何をやっているのか、健康づくり担当者会議が何をしているか、それを話していただきたいと思った。	行政、管理栄養士・ 栄養士
福利厚生として食堂に何を求め、どうかかわっていくかを教えてほしい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
実際に地域では、行政の立場からすると、管理栄養士、栄養士のいない事業所での健康づくりはなかなか進まないのので支援が大変。栄養士の配置がむづかしい中、どのように支援していけばよいか課題。	行政、管理栄養士・ 栄養士
委託の栄養士が兼務。本部で献立を立てている。→そういう契約単価→少しずつ変えていく、工夫していくのは非常に難しい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
昨年「委託会社やHPなどで働いている管理栄養士に向けての特定～セミナー」に参加したが、栄養士は皆、このチャンスを生かしたいけど、のっていけるルートができていないと感じた。積極的に、給食、食堂を通じたメタボ対策を商品としていけるビジネスチャンスだと思うが。特に「たべて体感できる」のはとても強いことだ。1日に必要な副菜（野菜、芋などは料理）の1/2量をたべてみる。・・・なんてことは食堂があればこそすぐにできること。行政からみたらうらやましい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
食堂がある事業所が一方では減りつつある現状もあるので、このような対象へのアプローチモデルも求められるのではと思う。	健康保険組合関係者、 管理栄養士・栄養士
行政も企業、受託会社の両方にアプローチしていきますので関係者みんなで頑張りましょう。	行政、管理栄養士・ 栄養士
労働基準監督署等から、事業所へ指導する際に給食の部門もチェックするようにしてはどうか？	行政、管理栄養士・ 栄養士

次年度への要望	立場
当社の食堂チーフは、お屋に出掛けられないので、話をききたいけど無理。もっと考えた時間でシンポジウムをしてほしいと言っていた。	企業の総務関係者
もっと大きな会場だと良い。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
今後、シンポジウムを開催する機会がありましたら、委託会社の立場・行政の立場の人もシンポジストに追加してほしい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
特定給食施設は1回100食以上となるので、来年度のシンポジストには、今回のような大企業の方だけでなく、小さい企業(1回200食～300食程度)で、取組みをしているところの事例を紹介してほしい。また、食数の少ない事業所(50食/日とか100食/日以下)の支援の具体的事例なども今後おしえていただきたい。	給食会社、行政 管理栄養士・栄養士
企業の方にもっと来て頂きたい。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
全国のいくつかの県では事業所に保健所が入りこんで健康づくり事業を実施しているので参考になるのでは・・・。	行政、管理栄養士・ 栄養士
地域、職域連携事例なども紹介して欲しい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
私たちがほしいと思うのはより具体的な事例、共に考えらる事例。	行政、管理栄養士・ 栄養士
またこういう機会があればぜひ参加したい。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
今後の課題としている貸用対効果は評価の方法が困難なので今後も報告をききたい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
メンタルヘルス面への食のかかわりという提案が最後にあったが効果的事例があれば教えていただきたい。	行政、管理栄養士・ 栄養士
各自治体でも食環境整備事業として、様々な取り組みを行っている。そのような中、自治体にはどのような協力をしてほしいのか連携をとりたいかなどの点についてもまたの機会にご教示いただきたい。	行政、管理栄養士・ 栄養士

大阪

感想	立場
たくさん話を聞いて良かったが、1人の話し時間が短く、もう少しゆつくりと話を聞きたかった。特に基調講演をゆつくり聞きたかった。	給食会社、 マネージャー
一講義の時間をもう少し長く、もう少し詳しくゆつくり聞きたかった。	企業の人事関係者、 産業保健組合関係者-看護師
各演者の発表時間がもう少し長くとってほしい。パワーポイントの資料がほしかった。	行政、 管理栄養士・栄養士
発表の1社については「特に何もやっていない会社」とうけとった。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
産業医のお話はメタボの話で従業員食堂と関係がなかった。	行政、 管理栄養士・栄養士
総論であるので具体的ではなく、ピンと来ない。多くに事例紹介の方が理解しやすいと思った。	企業の総務関係者、 その他(その他の立場は無記入)
他社の取り組みや様々な立場の人の話・意見が聞けて良かった。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
府北ブロック展示も同時にありとてもよかった。	行政、 管理栄養士・栄養士
すずんだことを取り入れた事例は参考になる。今後、食堂を運営していく上で、展開の参考にしていきたい。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
大手企業の現状がみられて(きけて)参考になった。食堂利用者の声がきける良い機会だった。特定保健指導にむけての参考になる。	管理栄養士
行政としての給食施設支援としての視点で、具体的な話が大変参考になった。	行政、 管理栄養士・栄養士
日頃給食施設指導に携わっているが、今まで事業所に関しては衛生という視点からであれば興味を持ってもらえるが、健康増進というなかなか話の切り口が見つからず前に進まない事が多々あったので、今日の研修や来年度からの健診、指導体制の変更により少しでも健康と食生活がつなげて考えてもらえるよう支援できればと思う。	行政、 管理栄養士・栄養士
保健所に勤務しているが、地域の食環境整備を担う役所があるのでとても参考になった。実際に企業と連携しながら健康づくりを進めている事例もあるが、社員食堂を活用した取り組みも前向きに検討していきたいと思った。現在は栄養成分表示のみをしている。	行政、 管理栄養士・栄養士
給食会社側の本音やモチベーションのあげ方をきけてよかった。	行政、 管理栄養士・栄養士
こころの健康づくりは展開が難しいと感じているが、給食とコラボした取り組みなどおもしろいと思った。	行政、 管理栄養士・栄養士
給食会社の栄養上の技術向上が求められている事を感じた。現場の栄養士が状況を把握し、働きかけていく形が良いのかなと思った。	病院関係者、 管理栄養士・栄養士
職員の食への意識を正しく、しっかりと持ってもらえる様、今後職場で取り組んでいきたいと思う。	病院関係者、 管理栄養士・栄養士
前向きに取り組まれている姿勢に発表内容はもちろんだが刺激を受ける事が出来た。	介護保険施設
社員の声を聞く、グループワーキング、プロセス評価、前後の評価、事業に取り組む基本姿勢、方法、手段、(伝える)本人を主役にすべきと思う。いかにそうもっていくかを考え、実施しようと思う。	特定非営利活動法人 管理栄養士
それぞれの立場からの事例が参考になった。研究者、ご本人が楽しむことをつかんでおられること、行動力などにひかれた。	特定非営利活動法人 管理栄養士
期待以上の収穫があった。明日からの励みになる。	病院関係者、 管理栄養士・栄養士
とても参考になった。次回楽しみにしています。頑張ります業務。	産業保健関係者、 管理栄養士・栄養士
まだ学生という未熟者だが、とても勉強になった。	学生

感想	立場
来年度の制度改革を前に事業所へ給食の重要性を訴えるが、大事だと思うと建前的な返答が返ってくるばかり。個人の行動変容だけでなく事業所の行動変容をおこす手法のヒントになればと参加した。いろいろな取り組みがなされていることがわかり参考になった。	行政、 管理栄養士・栄養士
従業員食堂の栄養成分表示などの環境整備の必要性を以前より感じており、特定給食施設指導のあり方に日頃から悩んでいる。	行政、 管理栄養士・栄養士
行政の立場から、給食施設指導として企業の支援指導にたずさわっているが、施設による状況にあまりに開きがある。各施設に応じた支援、底上げ、一定レベルの到達をめざし、事業にとりこんでいきたい。	行政、 管理栄養士・栄養士
食堂とのタイアップ面において味や材料面で値段との交渉が非常に難しいと思う。メンタルヘルスも食事だけでなく重要な問題を占めている。	病院関係者、 管理栄養士・栄養士
施設利用者(入所者)には反映しにくいこともあるが、施設職員への健康・食育には有効だと思った。交代制勤務で職員全員が一同に集まる機会をもうけるのは困難だが、個人にアプローチしていけたらと思う。	社会福祉施設、栄養士
このシンポジウムが個人が役立てる様に役立ってほしい。	企業の総務関係者 (栄養士)
今後、社員食堂の栄養士の活用を全国的に盛り上げていこうと思う。	給食会社、 管理栄養士・栄養士
健保組合も含めて企業側が社員の健康管理にも関心を持ってもらえるよう努力したいと思っている。	行政、 管理栄養士・栄養士

意見	立場
事業所の職員の中に、健康管理を担う人がいない場合多い。厳しい人員整理などされ、本来の業務にプラス食事部門を担当しているところが多い。そのため、特定給食施設の栄養管理を設置者が担うという自覚が無く、委託会社に任せきりになり食環境整備がすずまない。施設側(設置者)への理解をどう得るか。という何か手助け(法律など)がほしい。	行政、 管理栄養士・栄養士

次年度への要望	立場
「産業医の立場で」のお話ではもう少し産業医としてのお考えをもちこんだ内容を期待していた。ほとんど一般的な話であれば時間をとる必要はない。次回開催されるのであればぜひ改善されたい。	産業保健関係者、産業医
次は、グループでの取り組みを聞きたい。	産業保健関係者、保健師
評価方法等、具体的、教えていただきたい。	産業保健関係者、管理者
東京だけでなく今回のように大阪や、その他の都市(名古屋など)でも行って頂きたい。	給食会社、行政 管理栄養士・栄養士
シンポジウムの案内をもう少し早くいただけると多くの対象者にお知らせできたのと思った。	行政、 管理栄養士・栄養士
特定保健指導の取り組みの紹介を是非取り上げて欲しい。	病院関係者、 管理栄養士・栄養士
ぜひ、今後もこのようなシンポジウムを開催していただきたい。研究の成果をマスコミにも流して社会運動とかあたりまえになるようにして行って下さい！	行政、 管理栄養士・栄養士

平成 20 年 3 月 4 日（火）東京会場

テーマ：従業員食堂を健康づくりにどう役立てるか

特定健診・特定保健指導と食環境整備の統合にむけて

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:05 基調講演 医療制度改革による企業の健康管理の課題
－健康づくりにおける従業員食堂への期待－
神戸女子大学 教授 栗原 伸公

14:05～16:30 シンポジウム「従業員食堂を健康づくりにどう役立てるか」
座長 石田 裕美（主任研究者 女子栄養大学 教授）
由田 克士（（独）国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム
国民健康・栄養調査プロジェクト プロジェクトリーダー）

14:05～14:25 企業の福利厚生から
富士電機システムズ(株)生産本部 東京地区 総務部
次長 深澤 達也

14:25～14:45 産業医の立場から
滋賀医科大学 社会医学講座 准教授
元 YKK(株) 産業医 三浦 克之

14:45～15:05 健康保険組合・産業保健部の立場から
ソニー健康保険組合 事務長
(兼務) ソニー(株)人事センター 産業保健部
シニア産業保健マネージャー 須藤 美智子

15:05～15:25 食環境整備および食生活指導の立場から
ヤマハ(株)健康安全推進室 (健康管理センター)
管理栄養士 菊池 眞代

15:25～15:45 休憩

15:45～16:30 総合討論

平成 20 年 3 月 6 日（木）大阪会場

テーマ：従業員食堂を健康づくりにどう役立てるか

特定健診・特定保健指導と食環境整備の統合にむけて

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:05 基調講演

TTM を活用した食環境整備および食生活の個人指導の実践課題

女子栄養大学 教授 武見ゆかり

14:05～16:30 シンポジウム「従業員食堂を健康づくりにどう役立てるか」

座長 石田 裕美（主任研究者 女子栄養大学 教授）

由田 克士（（独）国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム

国民健康・栄養調査プロジェクト プロジェクトリーダー）

14:05～14:25 企業の福利厚生から

ダイハツ工業(株) グローバル人事部人事企画室

課長 宮下 修一

14:25～14:45 産業医の立場から

石賀医院

凸版印刷(株) パッケージ事業本部関西事業部

福崎工場 産業医 城谷 敬子

14:45～15:05 健康保険組合・産業保健部の立場から

ソニー健康保険組合 事務長

（兼務）ソニー(株)人事センター 産業保健部

シニア産業保健マネージャー 須藤 美智子

15:05～15:25 食環境整備および食生活指導の立場から

西洋フード・コンパスグループ(株)

オペレーション統括本部メニュー開発・調理指導室

メニュー栄養管理部 部長 管理栄養士 佐藤 愛香

15:25～15:45 休憩

15:45～16:30 総合討論

平成19年度 厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

勤労者の健康づくりのための給食を活用した集団
及びハイリスク者への対策に関する研究
報告書

発行日 平成20年3月

編集・発行 主任研究者 石田裕美

(女子栄養大学)

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21

TEL 049-281-3211

FAX 049-281-3211